

日本維新の会 衆議院 東京都第6選挙区支部長

河村建一



衆議院東京都 第6選挙区支部長 が決定しました!

世田谷区北部・西部 (赤堤・宇奈根・梅丘・大蔵・大原・岡本・粕谷・鎌田・上北沢・上祖師谷・北烏山・北沢・喜多見・碓・碓公園・給田・経堂・豪徳寺・櫻丘・櫻止水・成城・祖師谷・代田・千歳台・八幡山・羽根木・船橋・松原・南烏山・宮坂)

令和5年7月19日、日本維新の会は、河村建一(かわむらけんいち・新人・47歳)さんを日本維新の会衆議院東京都第6選挙区支部(世田谷北部・西部)の支部長とすることを発表しました。本号では、河村建一さんのインタビューをお届けします。

ごあいさつ

世田谷区の皆様、はじめまして。日本維新の会衆議院東京都第6選挙区支部長に就任しました河村建一です。

私は、31年間衆議院議員を務めた父の側で、政策担当秘書、文科大臣秘書官、官房長官秘書官として政治の現場を約23年間経験させていただきました。数多くの法改正や議員立法などにも携わる機会も得ました。自民党を大企業に例えれば、私は大企業という大きな組織の歯車の一つであり、末端社員でした。自民党は巨大組織であり、その意思決定のプロセスには、自民党政務調査会などの表の世界と、霞が関、業界団体などの根回しで物事が決まる裏の世界もあり、政治の大きな枠組が動いていく様をつぶさに見て感じてきました。

自民党政権は、確かに高度成長期モデルを霞が関と業界団体と一緒にタッグを組み進めてきました。その結果、日本は世界有数の経済大国になりました。しかし、少子高齢化社会を迎え、高度成長期と人口増を前提にした政策を積み上げた、現在の政策モデルでは対応できないことが多くなってきたことは皆様も日々感じるがあることと思います。

自民党は一番大きな声に耳を傾ける傾向があります。それは自民党を支持してきた有権者の年齢層が自民党とともに高齢化してきたこととも関係があります。今、この国に求められていることは、今まで積み上げた政策の上に、継ぎ接ぎのように政策を更に積み上げるのではなく、本当にこれから日本が成長し、存立し続けるために必要な政策を一旦棚卸しすることではないかと考えます。だからこそ、私は新興ベンチャーとして、しがらみや政治慣習にとらわれずに、本当に国民の皆さんが望んでいることを代弁できる



支部長就任が発表された翌日7月20日、世田谷区・松陰神社にて

政党が日本維新の会だと確信しています。政治の決定プロセスでは、有権者である国民、霞が関の官僚、業界団体など、様々なステークホルダーが存在します。その利害調整そのものが、まさに政治です。ステークホルダー同士の利害がぶつかった時、最後にどこに依るべきか、それは「国民の利益」でなければなりません。

私は山口県萩市に生まれ、18歳まで萩市で育ちました。私の通った明倫小学校では、明治維新発祥の地の精神的支柱の吉田松陰先生の遺された言葉を毎朝全校生徒が一斉に朗読します。その中の言葉で、

かくすれば かくなるものと知りながら
やむにやまれぬ大和魂

があります。まさに自分の心境として、大企業である自民党ではできないことを、大企業自民党を飛び出して、新興ベンチャーの日本維新の会の一員として、現代の維新を成し遂げたいというゆるぎない決意です。

日本維新の会
衆議院 東京都
第6選挙区支部長

河村建一

政治家として成し遂げたいこと

子どもは国の宝です。日本の子どもの数は急激に減少しており、昨年の出生数は過去最低の80万人を割り込みました。こうした危機的状況により、雇用、医療、社会保険などの制度や地域社会、産業の維持が難しくなるだけでなく、日本の文化、伝統、言語が途絶えてしまう可能性すらあります。

少子化対策を国あげて取り組み成果を出したフランスは、「フランス語を話し、フランスのワインを愛でる国民がいなくなる」という危機感をフランス国民の多くが抱いたと言われます。現在日本人にはこのような危機感はありません。

我が国の社会、文化、伝統、そして日本人の心を、教育を通じて継承し、最終的に日本国家、日本文明を支える人材として社会で自立することこそ、国家がするべきことだと考えます。出自や親の経済状態にかかわらず、次世代を担う子どもたちを等しく成人するまで、国が保障することを実現させることが政治家として最も成し遂げたいことです。

河村建一公式Twitterで日々情報発信中



河村建一(かわむらけんいち)経歴・プロフィール

幼少期
学生時代
国会議員秘書
現在

維新の地 — 山口県萩市に生まれ萩市に育つ

1976年1月29日、山口県萩市に生まれ、高校までを萩で過ごす。萩の藩校を起源に持つ明倫小学校で学び、毎朝の萩出身の幕末の志士である吉田松陰先生のことばの朗読の習慣が今の人生の基礎を形作った。松陰神社を有する世田谷で挑戦の機会をいただいたことはご縁を感じずにいられません。



萩藩校明倫館跡に建つ日本最大級の木造校舎を持つ旧明倫小学校。(明倫学舎HPより)



東京での学生生活の始まりは世田谷・豪徳寺

故郷山口県萩を出て上京。選んだ土地は世田谷区豪徳寺。周辺の銭湯に通い、四半世紀前と変わらず現在も世田谷区内の銭湯をめぐる。青山学院大学法学部公法学科を卒業。

大学卒業後、議員秘書・研究員として立法に携わる

大学卒業後、衆議院議員河村建夫の政策担当秘書、文部科学大臣秘書官、内閣官房長官秘書官を23年間務める。2005年、東京大学大学院情報学環学際情報学府修士課程を修了。2008年の宇宙基本法の事務方責任者として、河村建夫前議員の活動を支え法案作成を行う。以降の国内全ての宇宙関連法案に携わる。



父・河村建夫の衆議院議員秘書として数々の法律案・政策調整に携わる(画像はNHKより)



これまで携わった法律案

宇宙基本法案(08年5月成立)、他、宇宙活動法・衛星リモセン法、宇宙資源法
原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律の一部を改正する法律案(08年6月成立)
公認心理士法案(15年9月成立)・幼児教育振興法案(未成立) など他多数

2023年7月19日 日本維新の会 衆議院東京都第6選挙区支部長就任

日本維新の会
東京都第6選挙区支部
ボランティア募集中

東京都第6選挙区支部長
河村建一

日本維新の会共同代表
吉村洋文

ボランティア登録フォームはこちらから

日本維新の会チーム世田谷

世田谷区議会議員
若林りさ

日本維新の会

世田谷区議会議員
ひえしま進

【お問い合わせ】 河村建一事務所
TEL: 03-6413-1409 / FAX: 03-6413-1410
Email : kawamurakenichioffice@gmail.com

